

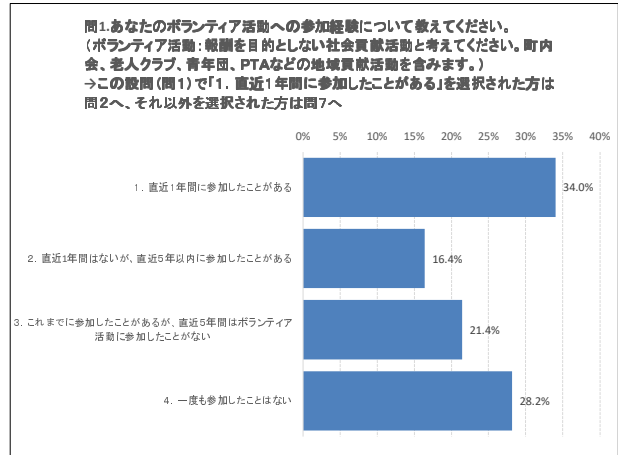
令和4年度「県民Webアンケート」 第11回 ボランティアに関する意識調査

○実施期間 2022/11/30～2022/12/8

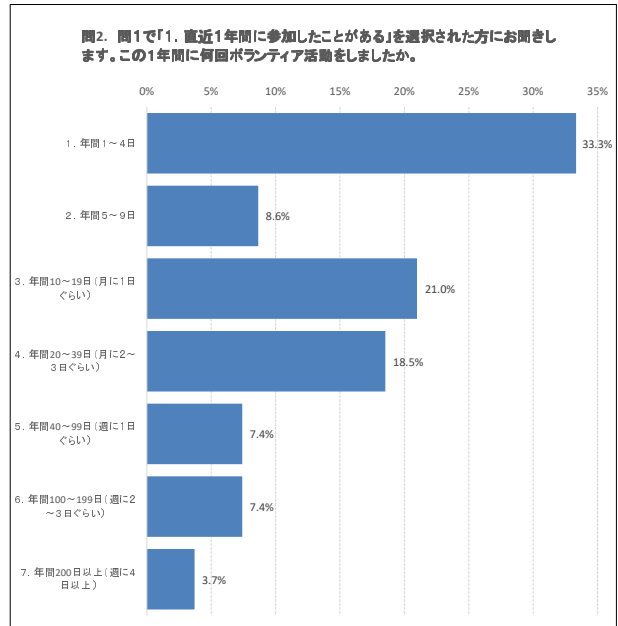
○アンケート会員数 274名 回収率 238 件 (86.9%)

○奈良県では、地域の課題をみんなで力を合わせて解決し、くらしやすい地域をつくることを目指しています。この目的を実現するために必要なボランティア活動への参加経験や意識等について、皆さんのお考えや行動を教えてください。今後の施策に反映させていきたいと考えております。

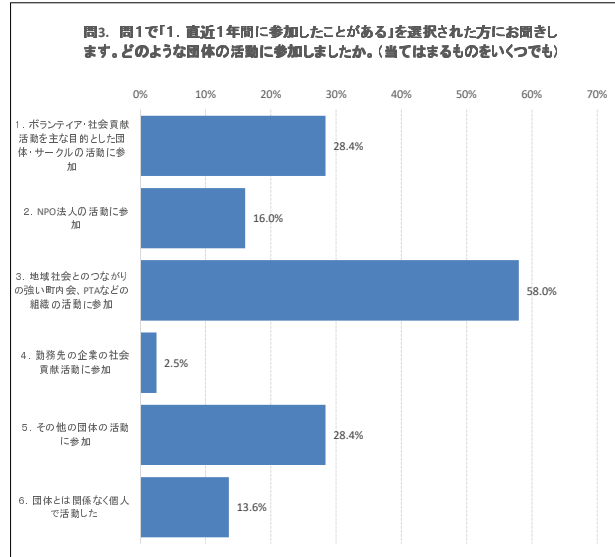
問1. あなたのボランティア活動への参加経験について教えてください。(ボランティア活動:報酬を目的としない社会貢献活動と考えください。町内会、老人クラブ、青年団、PTAなどの地域貢献活動を含みます。)	回答数	回答対象者	比率
1. 直近1年間に参加したことがある	81	238	34.0%
2. 直近1年間はないが、直近5年以内に参加したことがある	39		16.4%
3. これまでに参加したことがあるが、直近5年間はボランティア活動に参加していない	51		21.4%
4. 一度も参加したことはない	67		28.2%
総計	238		100.0%



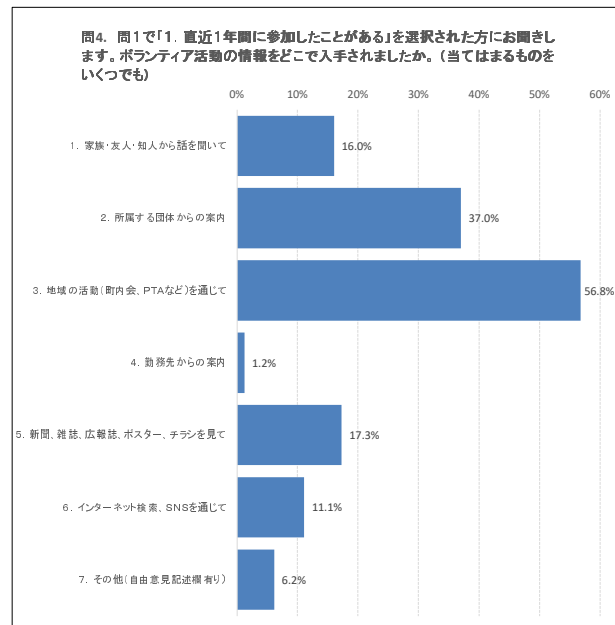
問2. 問1で「1. 直近1年間に参加したことがある」を選択された方にお聞きします。この1年間に何回ボランティア活動をしましたか。	回答数	回答対象者	比率
1. 年間1～4日	27	81	33.3%
2. 年間5～9日	7		8.6%
3. 年間10～19日(月に1日ぐらい)	17		21.0%
4. 年間20～39日(月に2～3日ぐらい)	15		18.5%
5. 年間40～99日(週に1日ぐらい)	6		7.4%
6. 年間100～199日(週に2～3日ぐらい)	6		7.4%
7. 年間200日以上(週に4日以上)	3		3.7%
総計	81		100.0%



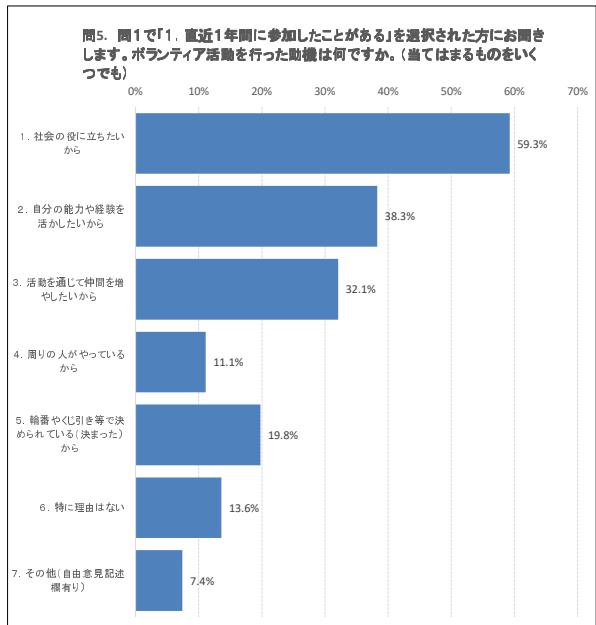
問3. 問1で「1. 直近1年間に参加したことがある」を選択された方にお聞きします。どのような団体の活動に参加しましたか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
1. ボランティア・社会貢献活動を主な目的とした団体・サークルの活動に参加	23	81	28.4%
2. NPO法人の活動に参加	13		16.0%
3. 地域社会とのつながりの強い町内会、PTAなどの組織の活動に参加	47		58.0%
4. 勤務先の企業の社会貢献活動に参加	2		2.5%
5. その他の団体の活動に参加	23		28.4%
6. 団体とは関係なく個人で活動した	11		13.6%
総計	119		-



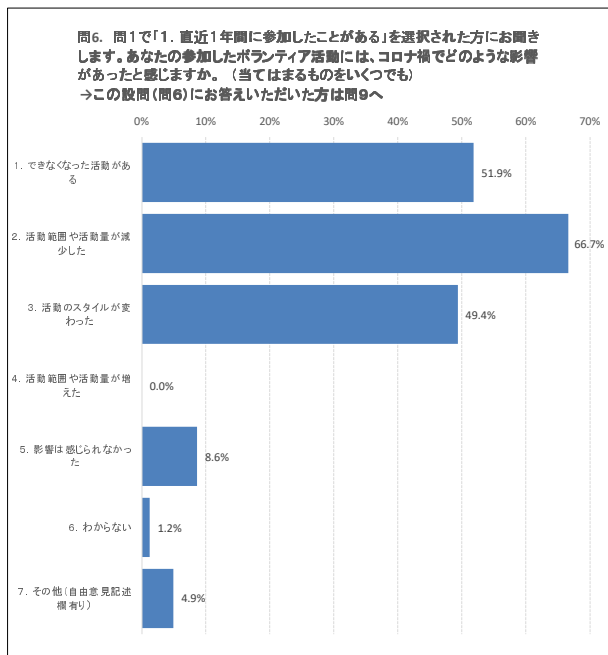
問4. 問1で「1. 直近1年間に参加したことがある」を選択された方にお聞きします。ボランティア活動の情報をどこで入手されましたか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
1. 家族・友人・知人から話を聞いて	13	81	16.0%
2. 所属する団体からの案内	30		37.0%
3. 地域の活動(町内会、PTAなど)を通じて	46		56.8%
4. 勤務先からの案内	1		1.2%
5. 新聞、雑誌、広報誌、ポスター、チラシを見て	14		17.3%
6. インターネット検索、SNSを通じて	9		11.1%
7. その他(自由意見記述欄有り)	5		6.2%
総計	118		-



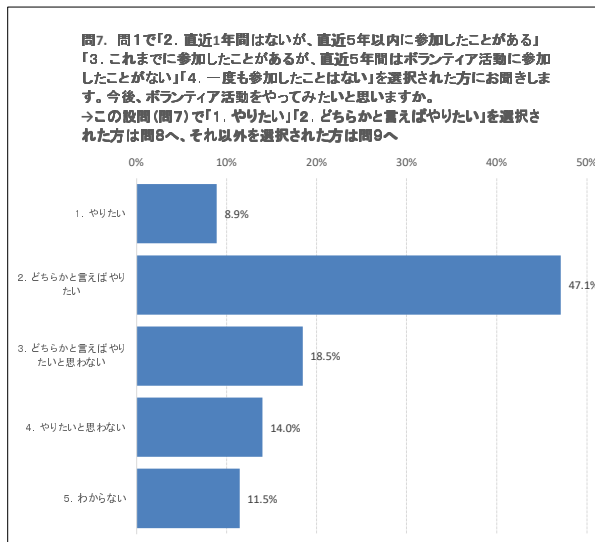
問5. 問1で「1. 直近1年間に参加したことがある」を選択された方にお聞きします。ボランティア活動を行った動機は何ですか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
1. 社会の役に立ちたいから	48	81	59.3%
2. 自分の能力や経験を活かしたいから	31		38.3%
3. 活動を通じて仲間を増やしたいから	26		32.1%
4. 周りの人がやっているから	9		11.1%
5. 輪番やくじ引き等で決められている(決まった)から	16		19.8%
6. 特に理由はない	11		13.6%
7. その他(自由意見記述欄有り)	6		7.4%
総計	147		-



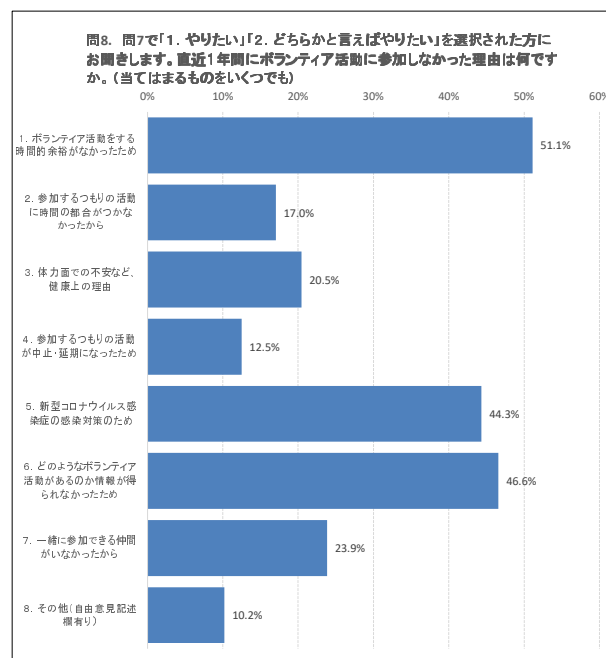
問6. 問1で「1. 直近1年間に参加したことがある」を選択された方にお聞きします。あなたの参加したボランティア活動には、コロナ禍でどのような影響があったと感じますか。(当てはまるものをいくつでも) →この設問(問6)にお答えいただいた方は問9へ	回答数	回答対象者	比率
1. できなくなった活動がある	42	81	51.9%
2. 活動範囲や活動量が減少した	54		66.7%
3. 活動のスタイルが変わった	40		49.4%
4. 活動範囲や活動量が増えた	0		0.0%
5. 影響は感じられなかった	7		8.6%
6. わからない	1		1.2%
7. その他(自由意見記述欄有り)	4		4.9%
総計	148		-



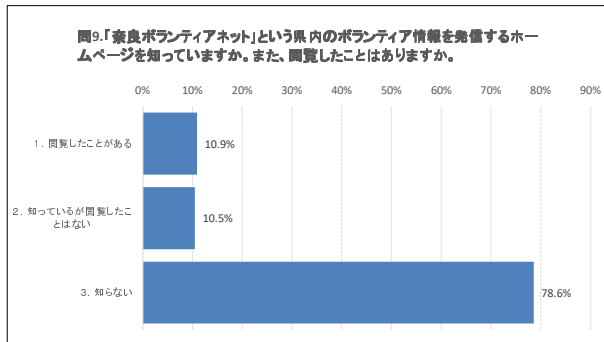
回答数	回答対象者	比率
問7. 問1で「2. 直近1年間はないが、直近5年以内に参加したことがある」「3. これまでに参加したことがあるが、直近5年間はボランティア活動に参加したことがない」「4. 一度も参加したことはない」を選択された方にお聞きします。今後、ボランティア活動をやってみたいと思いますか。→この設問(問7)で「1. やりたい」「2. どちらかと言えばやりたい」を選択された方は問8へ、それ以外を選択された方は問9へ		
1. やりたい	14	8.9%
2. どちらかと言えばやりたい	74	47.1%
3. どちらかと言えばやりたくないと思わない	29	18.5%
4. やりたくないと思わない	22	14.0%
5. わからない	18	11.5%
総計	157	100.0%



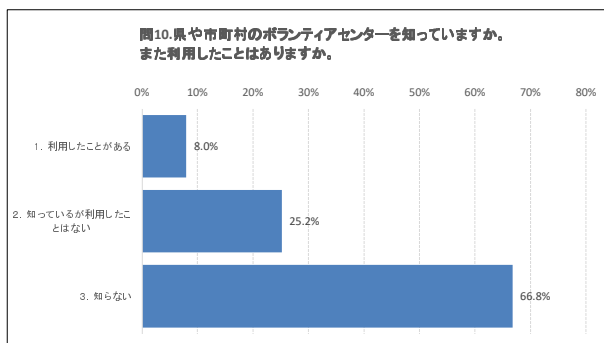
回答数	回答対象者	比率
問8. 問7で「1. やりたい」「2. どちらかと言えばやりたい」を選択された方にお聞きします。直近1年間にボランティア活動に参加しなかった理由は何ですか。(当てはまるものをいくつでも)		
1. ボランティア活動をする時間的余裕がなかったため	45	51.1%
2. 参加するつもり活動に時間の都合がなかったから	15	17.0%
3. 体力面での不安など、健康上の理由	18	20.5%
4. 参加するつもり活動が中止・延期になったため	11	12.5%
5. 新型コロナウイルス感染症の感染対策のため	39	44.3%
6. どのようなボランティア活動があるのか情報が得られなかったため	41	46.6%
7. 一緒に参加できる仲間がいなかったから	21	23.9%
8. その他(自由意見記述欄有り)	9	10.2%
総計	199	-



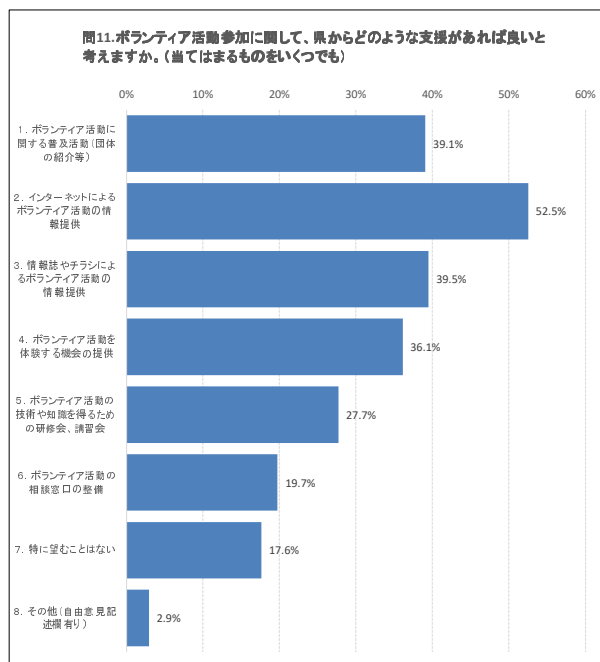
問9「奈良ボランティアネット」という県内のボランティア情報を発信するホームページを知っていますか。また、閲覧したことはありますか。	回答数	回答対象者	比率
1. 閲覧したことがある	26	238	10.9%
2. 知っているが閲覧したことはない	25		10.5%
3. 知らない	187		78.6%
総計	238		100.0%



問10県や市町村のボランティアセンターを知っていますか。また利用したことはありますか。	回答数	回答対象者	比率
1. 利用したことがある	19	238	8.0%
2. 知っているが利用したことはない	60		25.2%
3. 知らない	159		66.8%
総計	238		100.0%



問11.ボランティア活動参加に関して、県からどのような支援があれば良いと考えますか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
1. ボランティア活動に関する普及活動(団体の紹介等)	93	238	39.1%
2. インターネットによるボランティア活動の情報提供	125		52.5%
3. 情報誌やチラシによるボランティア活動の情報提供	94		39.5%
4. ボランティア活動を体験する機会の提供	86		36.1%
5. ボランティア活動の技術や知識を得るための研修会、講習会	66		27.7%
6. ボランティア活動の相談窓口の整備	47		19.7%
7. 特に望むことはない	42		17.6%
8. その他(自由意見記述欄有り)	7		2.9%
総計	560		-



問12 ボランティア活動への考え方、ご意見、ご要望等ご自由にご記入ください。(任意回答)	回答数	回答対象者	比率
(回答者)	65	238	27.3%
総計	65		27.3%

(任意回答) 一部抜粋
定期的、継続的な参加は無理ですが、普段、自宅付近の路上のゴミ拾いのようなボランティア活動にはあてはまらないような微々たるものですが、無理なくできることはしています。誰もが無理なく自然にできる範囲でできればいいと思います。
ボランティア活動に参加した経験から、ボランティア活動に参加するには時間とお金に余裕があり、かつ健康でなければいけないと思いました。ボランティア活動には、お金がかからないと思いがちですが、交通費、弁当代その他もろもろの諸経費等を考えれば、毎月の出費もばかになりません。行政に金銭の支援を期待しませんが、社会奉仕、社会還元をする志で活動するには限界があります。行政もボランティア活動にご理解を示して、何らかの支援策を考えていただければ幸いです。
ボランティアという無償性、無給性と言うことを思い浮かべる人が多いと感じます。共に支え合い学び合うという精神とか、より良い社会を作る意思という事をもう少し前面に出して広報していただければ良いのではと思います。簡単なことから参加出来ますよと訴えたいです。
10年以上ボランティア活動をしています。最近は何らかの形でボランティア活動をしている人が多くなりました。していない人を探す方が難しくいらいです。世の中は非常に良い傾向になっております。
誘えば「じゃあ試みに?!」って、参加して思ったより手軽に出来るボランティア活動であるのを経験して、続けられる方も結構おられます。いろんな形態・機会があるのを知らない人が多いのを感じています。